



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

しゅ げん ぎょう じや

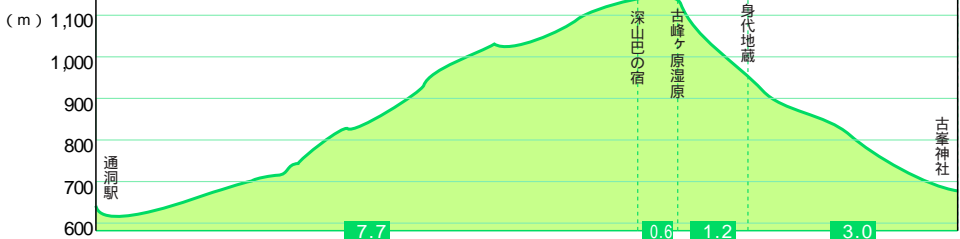
2

修験行者のみち

12.5km

日光市足尾町通洞から渡良瀬川を渡り、内籠（うちのこもり）川、都沢に沿って遡ると、林の中に巴形に清水が流れる深山巴の宿（じんぜんともえのしゆく）に至ります。ここは日光開山の祖である勝道上人（しょうどうしょうにん）が修行をした場所であり、後には全日光僧坊達により一千余年の永きにわたり修験道が行われました。そして、そこから少し歩くとヤシオツツジやヤマツツジに囲まれた古峰ヶ原（こぶがはら）湿原が見えてきます。この小さな湿原に沿って景色を楽しみながら歩くとコースはいよいよ終盤です。林の中の道をしばらく下ると、やがて天狗信仰で有名な古峯（ふるみね）神社に到着します。江戸時代に奉納された二つの巨大な天狗の面は一見の価値があります。

ルート標高



踏破認定撮影ポイント



深山巴の宿(鳥居)

日光開山の勝道上人が、明星天子の示現（じげん）により修行の地として定めた場所であり、林の中に巴形に清水が流れています。上人はここに草庵（そうあん）を結んで修行を積み、二荒山を開山しました。後には全日光僧坊達の修行の場として、一千余年の永きにわたり、明治初年に至るまで修験道が行われた場所でもあります。現在では古峯神社の禊所（みそぎじょ）として使われています。

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
 栃木県県西環境森林事務所 環境企画課
 日光市役所足尾総合支所 観光課
 鹿沼市役所 観光交流課
 足尾観光協会 観光案内センター

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL.028-623-3206
 〒321-1263 日光市瀬川 51-9 TEL.0288-21-1180
 〒321-1523 日光市足尾町松原 1-19 TEL.0288-93-3116
 〒322-8601 鹿沼市今宮町 1688-1 TEL.0289-63-2303
 〒321-1523 日光市足尾町松原 6-3 TEL.0288-93-3417

コース周辺の見所



銅山観光

1980年（昭和55年）、400年続いた足尾銅山の閉山を機に、通洞坑跡を観光用に開発した銅山を再現する坑内観光です。トロッキに乗って見学する坑内では、人形を使い、江戸時代の手廻りの様子から機械化された銅山の様子まで年代ごとに紹介されており、そこで働いた人々の姿をとおりて足尾銅山の歴史や鉱山の持つ仕組みをよく知ることができます。



ニホンジカ

このあたりは野生動物の宝庫であり、特にニホンジカが多く生息しています。ニホンジカは主にササやイネ科の植物を食べますが、木の葉や樹皮を食べてしまうこともあるため、最近では食害の問題も深刻になっています。群れで生活を営み、通常は雄と雌とは別々の群れを作ります。雄のみ角があり、角は毎年春先に抜け落ちて生え替わります。もし歩道の周辺で姿を見つけたら、静かに観察しましょう。



古峰ヶ原ヒュッテ

古峰ヶ原湿原のすぐ脇にある無人小屋です。ヒュッテの外にもスペースがあり、古峰ヶ原湿原を眺めながら休憩することができます。



古峰ヶ原湿原

ヤシオツツジ、ヤマツツジ、コメツツジなど多くのツツジ類に囲まれた小さな湿原です。ヌマガヤ、ミスゴケを主とし、アブラガヤ、ヤチカワスゲ、ノハナショウブ、コバギボウシ、エゾシロネ、チダケサシ、ヒメシダなどの湿原性植物が生育しています。8月頃には、ヒヨドリバナ、コウリンカ、ノハラアザミ、アケボノソウ、サウギキョウ、アキノウナギツカミ、コオニユリ、ヌマガヤ、ノリウツギ、ホザキシモツクなどの花が見られます。



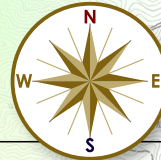
古峯神社

祭神は日本武尊で、臣下の藤原卑人が京都から移住して日本武尊の神霊を祭ったのが始まりと言われています。江戸時代には、古峰ヶ原天狗（日光天狗）として、鞍馬山、愛宕山、秋葉山などと同様に天狗信仰で有名になり、連日多くの信者が参詣しました。神社には、奉納された大小多数の天狗面があり、江戸時代に奉納された二つの巨大な天狗の面は、鼻の高さが91cm、重さが約150kgもあり、災厄消除の神として信仰されています。

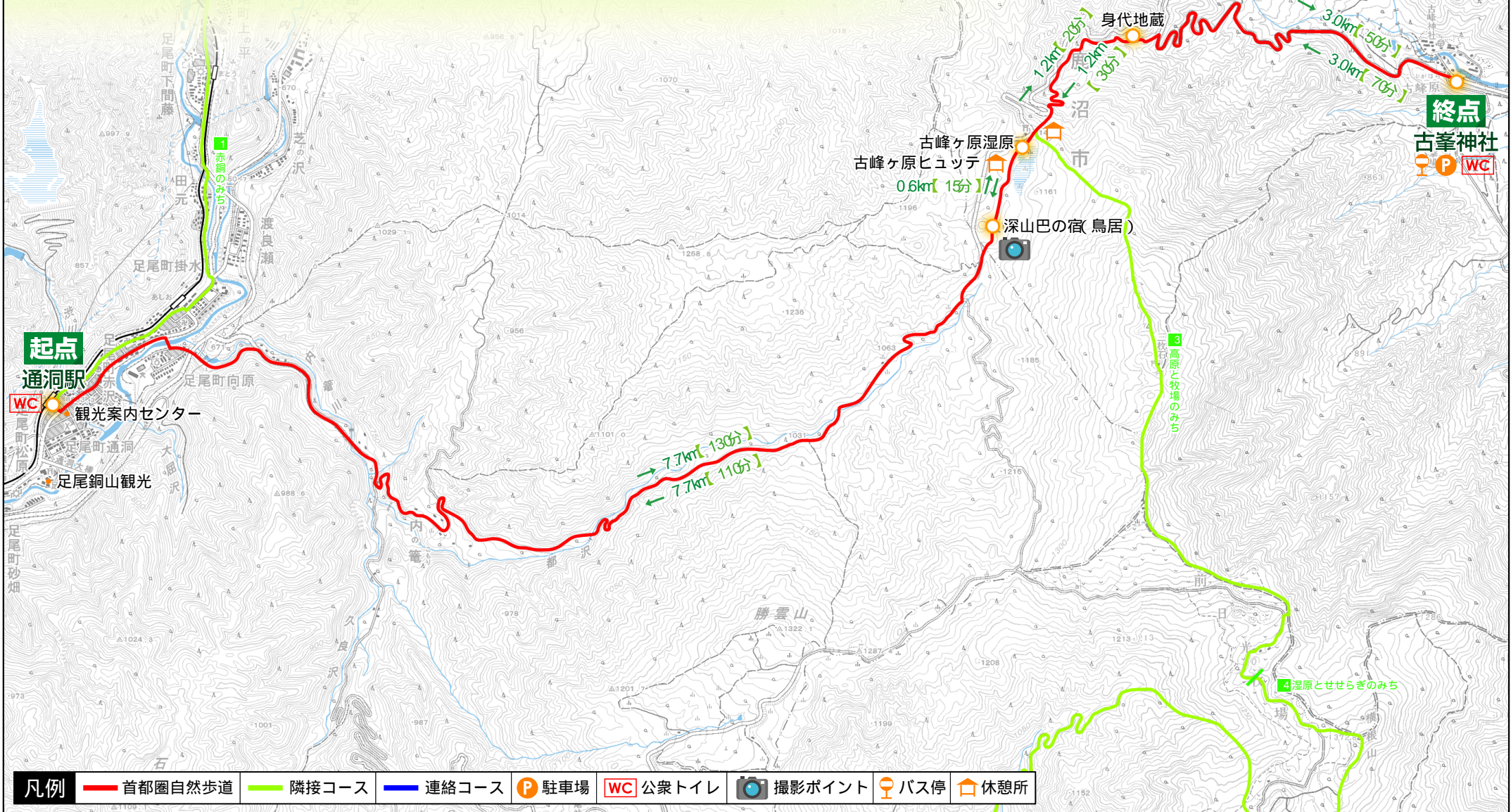


栃木県

2 修験行者のみち



起点：日光市足尾町松原（わたらせ渓谷鉄道 通洞駅）【 12.5km 】
終点：鹿沼市草久（古峯神社）



1:30,000 500 0 500 1000 1500 2000m

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25,000地図画像を複製したものである。(承認番号)平2壊複、第71号